

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 04 快適に暮らせるまち
 施策 01 調和の取れた市域の形成
 基本事業 01 計画的な土地利用
 主管課： 都市計画課
 関係課： 企画課、建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内全域	市街化区域の有効な土地利用の促進を図る。 市街化調整区域の無秩序な開発を防ぎ、環境の保全に努める。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市街化区域に占める宅地の割合 (%) 都市計画課						
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)	
57.00	57.60	60.20	57.80	0.00	58.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より2.6ポイント、基準値からは3.2ポイント増加しており、目標値を上回っています。				
対前年度	向上	(原因) 松並土地区画整理事業地内の集合住宅を含む宅地面積の増加や市街化区域内未利用地の集合住宅建設等による宅地化が進んだため、宅地面積の割合が増加したものと考えられます。				
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

市街化調整区域に占める宅地以外の割合 (%) 都市計画課						
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)	
88.90	88.70	88.70	88.30	0.00	88.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 市外化調整区域に占める宅地以外の割合は前年度からは変わらず、基準値からは、0.2ポイント減少しています。				
対前年度	低下	(原因) 市街化調整区域の農地・山林等において、例年と同程度の件数の開発行為はあるものの、大規模な開発行為が行われていないことが、主な要因と思われます。				
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 迴
事業費合計	1,318	205,023	19,555	11,502	61,102
人件費	0	3,087	6,307	0	0
トータルコスト	1,318	208,110	25,862	11,502	61,102

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

市街化区域においては、着実に計画的な土地利用が図られている。今後の課題としては、守谷駅東口市有地整備事業やみずき野地内商業施設跡地利活用事業などの土地利用が挙げられます。

また、市街化調整区域については、開発指導要綱等に基づき、適切な指導を行い、無秩序な開発の抑制が図られています。

今後も引き続き、民間による開発行為について、当市の土地利用計画に即した規制や指導を行い、環境の保全に努めます。

市街化区域においては、着実に計画的な土地利用が図られている。今後の課題としては、守谷駅東口市有地整備事業やみづき野地内商業施設跡地利活用事業などの土地利用が挙げられます。	推進状況	順調
また、市街化調整区域については、開発指導要綱等に基づき、適切な指導を行い、無秩序な開発の抑制が図られています。	次年度への課題	課題あり
今後も引き続き、民間による開発行為について、当市の土地利用計画に即した規制や指導を行い、環境の保全に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

5 基本事業を構成する事務事業の評価